

Course number		G-LAS15 80031 LB95			
Course title (and course title in English)	総合生存学（ウェルビーイング） Introduction to Advanced and Integrated Studies in Human Survivability (Wellbeing)		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Professor,SAITO KEI Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Program-Specific Associate Professor,SHINOHARA MASATAKE Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Associate Professor,ZHAO LIANG Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Associate Professor,DEROCHE , Marc-Henri Jean Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Associate Professor,MIZUMOTO KENJI	
Group	Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)	Interdisciplinary Courses	
Language of instruction	Japanese and English		Old group		Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods	Thu.1	Target year	Graduate students		Eligible students For all majors
(Students of Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)					
[Overview and purpose of the course]					
総合生存学とは、紛争、経済格差、気候変動、自然災害、環境破壊、パンデミック、少子高齢化など、人類の日常と未来を脅かす社会課題について分野横断型のアプローチで解決を目指す実践的な学問です。 この科目は、こうした総合生存学が取り組む具体的な領域として、ウェルビーイングに焦点を当て、これら領域における課題解決の具体的な実践方法を自ら考えるための基礎力を養うことを目的とするものです。この目的を達成するために、ウェルビーイングに関する基礎的な知見について、自然・社会科学/人文・社会系にまたがり学際的に解説していきます。また、その前提として、総合生存学が目指す総合知の習得と分野横断的な学術研究方法についても講義します。					
[Course objectives]					
・人類をとりまく地球規模課題に関する幅広い知識を得ると共に、分野横断型・文理融合型の学問に対する取り組み方や研究方法について理解する。 人々の健康や健康長寿社会について多面的に考察し実現を目指す ・総合生存学の基本的考え方を理解した上で、その具体的な実践領域としてのウェルビーイングについて基礎的な知見を習得する。					
[Course schedule and contents]					
以下のスケジュールに従い、それぞれの分野を専門とする教員が講義を行います。授業中、積極的にディスカッションを取り入れます。なお、講義の進捗等によりスケジュールを変更する場合があります。 (１) 総合知を考える 科目の内容と進め方の説明【１週】担当：齋藤 (２) 分野横断研究を考える【１週】担当：齋藤 (３) テーマA．人新世の視点からウェルビーイングを考える 【２週】担当：篠原 (４) テーマB．情報の視点からウェルビーイングを考える 【２週】担当：趙 (５) テーマC．マインドフルネスの立場からウェルビーイングを養う【３週】 担当：Deroche (６) テーマD．感染症と人類の関わりからウェルビーイングを考える【２週】 担当：水本 (７) グループに分かれウェルビーイングに則った融合研究のテーマ設定 【１週】担当：水本 (８) 学生プレゼンテーション【２週】担当：水本					
Continue to 総合生存学（ウェルビーイング）(2)					

総合生存学（ウェルビーイング）(2)

（ 9 ）フィードバック【 1 週】担当：水本

全体コーディネーター：総合生存学館 准教授 水本憲治

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業内ディスカッションへの積極的な参加（30点）、ウェルビーイングに関する小課題（40点）、研究計画案のプレゼンテーション（30点）により、到達目標の達成度を総合的に評価します。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

（ References, etc. ）

川井秀一・藤田正勝・池田裕一 編 『総合生存学: グローバル・リーダーのために』（2015）

池田裕一 編著 『実践する総合生存学』（2021）

[Study outside of class (preparation and review)]

テキストや講義中に紹介する文献などを参考にしながら授業外学習を行い、講義内容の理解を深めてほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

各授業担当教員との面談を希望する学生は、(1) 名前・学籍番号・所属、(2) 面談希望日時（第3希望まで）を書いて、電子メールで連絡してください。